

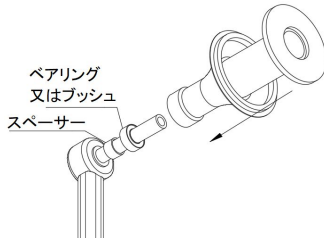
この度はウルクス製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
 末永くご使用して頂く為にも、釣行毎のお手入れをお願いいたします。
 本製品は4分割の部品によって組み立てるようになっております。
 小さなパーツも含まれますので、紛失されないようご注意ください。
 また、部品の中には一部鋭くなっている部分がありますので、お手入れの際や組み立てる際は
 怪我をしないように充分にお気をつけください。



MidAir SA シリーズ 取り付け方法

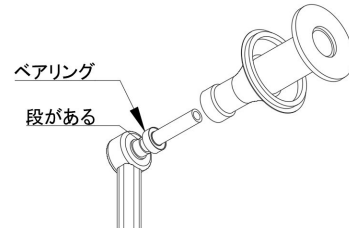
(ダイワ S サイズ取り付け方法)

<< ハンドルタイプ1 >>

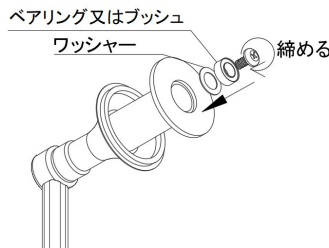


- ① 根元に段の無いハンドルタイプ
 図のように付属のスペーサーを入れてからベアリング(付属又は純正)を入れノブを入れます。

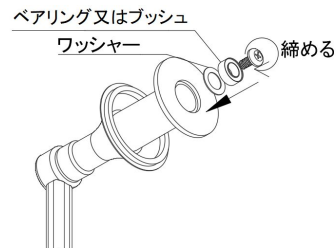
<< ハンドルタイプ2 >>



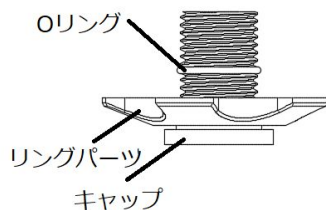
- ① 根元に段が有るハンドルタイプ
 図のように付属のベアリング及びワッシャーを入れ、ノブを入れます。



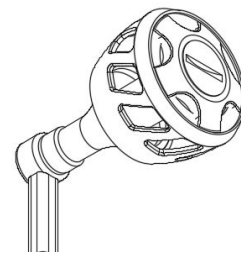
- ② 付属のワッシャーを入れ、純正のベアリング又はブッシュを入れてネジを軽くいっぱいまで締めます。
 この時にガタがあれば再度ワッシャーを追加して調整します。
 ノブが固まって回転しない場合は、ワッシャーを減らすか、薄いワッシャーに替えて調整してください。
 ベアリングにワッシャーが貼りついている場合がありますので、注意してください。



- ② 純正のベアリング又はブッシュを入れてネジを軽くいっぱいまで締めます。
 この時にガタがあれば再度①にもどり、ワッシャーを追加して調整します。
 ノブが固まって回転しない場合は、ワッシャーを減らすか、薄いワッシャーに替えて調整してください。
 ベアリングにワッシャーが貼りついている場合がありますので、注意してください。



- ③ キャップにリングパーツを通し、Oリングを通しセットします。
 Oリングを入れる順番を間違えると、キャップが閉まらなくなります。



- ④ ガタが少なくスムーズに回転したら、ネジを締め、グリップパーツ・キャップをはめて、コイン等で固定して完成です。

- (注1) ネジはきつく締めすぎないようにご注意ください。きつく締めすぎると、ねじ山が潰れたりハンドルの根元部分のカシメが外れる場合があります
 (注2) 調整ワッシャーは必ず付属のワッシャーをお使いください。
 (注3) スマック/エスブレイド/エアド(エアドレッドチューンは除く)/It's ICV/リザルト/スポルザ/ラウルに取り付けの場合は別途ダイワ純正部品、樹脂カラー(パーツNO110664)が必要になります。
 (注4) メーカーにオーバーホールや修理を依頼する場合は、純正のノブに戻してから依頼してください

・純正ノブの外し方は、リールに付属の説明書やメーカーホームページ等でご確認ください。
 ・基本的に 純正ノブを外した時に入っているパーツ(ベアリング又はカラー、ワッシャー等)を使用してください。
 ・メーカーにオーバーホールや修理を依頼する場合は純正のノブに戻してから依頼してください。

ULUCUS

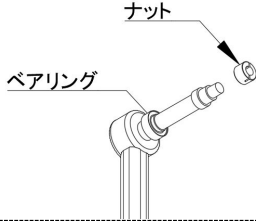
<http://www.ulucus.com>

MidAir SA シリーズ 取り付け方法

(シマノ A タイプ取り付け方法)

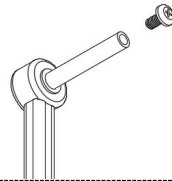
<< ハンドルタイプ1 >>

ベアリングが固定されており、ナットで固定するタイプ。



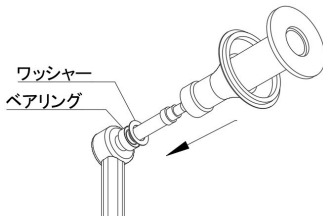
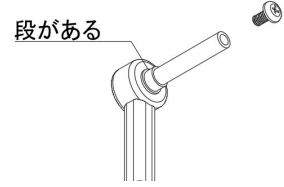
<< ハンドルタイプ2 >>

ハンドル軸根元に段がなく、ボルトで固定するタイプ。

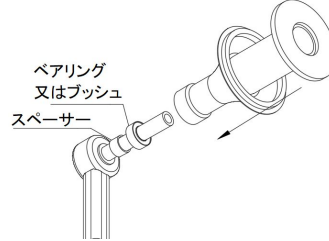


<< ハンドルタイプ3 >>

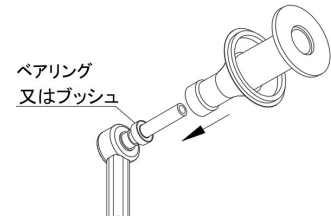
ハンドル軸根元に段があり、ボルトで固定するタイプ。



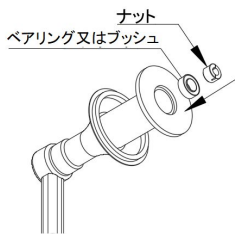
①図のようにワッシャーを入れます。
ノブ取り付け完成後、ガタが多い場合はこの手順まで戻り、ワッシャーを追加して調整します。



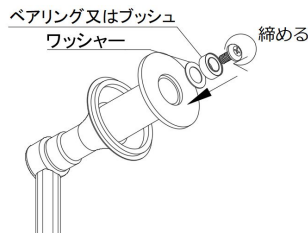
①図のように付属のスペーサー、ベアリング又はブッシュの順に入れます。



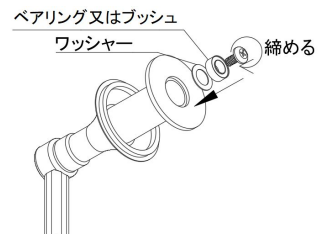
①図のようにベアリング又はブッシュを入れます。



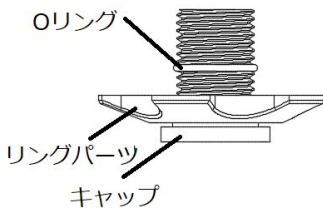
②ノブを入れてベアリング又はブッシュを入れ、ナットで軽く固定し、ガタが多い場合は①にもどり、ワッシャーを追加します。
※ベアリングが真っ直ぐに入っているか、確認してください。



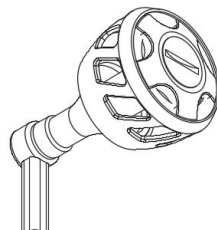
②ノブを入れて、ワッシャー、ベアリング又はブッシュの順に入れ、ネジをいっぱいまで軽く締めます。この時点でガタが多い場合は付属のワッシャーを追加して調整してください。
※ベアリングが真っ直ぐに入っているか、確認してください。



②ノブを入れて、ワッシャー、ベアリング又はブッシュの順に入れ、ネジをいっぱいまで軽く締めます。この時点でガタが多い場合は付属のワッシャーを追加して調整してください。
※ベアリングが真っ直ぐに入っているか、確認してください。



③キャップにリングパーツを通し、Oリングを通しセットします。
Oリングを入れる順番を間違えると、キャップが閉まらなくなります。



④ガタが少なくスムーズに回転したら、ネジを締め、グリップパーツ・キャップをはめて、コイン等で固定して完成です。

- (注1) ノブが固まって回転しない場合は、ワッシャーを減らすか、薄いワッシャーに替えて調整してください。ベアリングにワッシャーがくっついている場合がありますので、注意してください。
- (注2) ネジはきつく締めすぎないようにご注意ください。きつく締めすぎると、ねじ山が潰れたりハンドルの根元部分のカシメが外れる場合があります。
- (注3) メーカーにオーバーホールや修理を依頼する場合は、純正のノブに戻してから依頼してください

- ・純正ノブの外し方は、リールに付属の説明書やメーカーホームページ等でご確認ください。
- ・基本的に 純正ノブを外した時に入っているパーツ(ベアリング又はカラー、ワッシャー等)を使用してください。
- ・メーカーにオーバーホールや修理を依頼する場合は純正のノブに戻してから依頼してください。

ULUCUS

<http://www.ulucus.com>